

11、12日まちづくり考えるフォーラム



ポスターを手に「小樽地域遺産フォーラム」への参加を呼び掛ける小樽ビジョン実行委のメンバー

歴史的景観巡り 小樽の未来模索

小樽市内の歴史的景観を生かした観光やまちづくりを考える「小樽地域遺産フォーラム」2038年小樽ビジョン」が11、12の両日、開かれる。11日は朝里地区、12日は小樽堺町通り商店街周辺でまち歩きや基調講演、パネルディスカッションが行われる。

同商店街の重要伝統的建造物群保存地区（重伝建地区）選定に向けた検査が主催。23年に市内

朝里、堺町通り歩く 北大・西山教授らも講演

で開かれた「全国町並みゼミ」での議論を発展させ、北海道新幹線が札幌まで延伸する38年度以降に向けたまちづくりを考えようと企画した。

11日は午前10時から朝里地区の歴史遺産などを見て回った後、午後1時から新光南会館（新光5）で小樽商科大の高野宏康客員研究員らの基調講演を実施。12日は午前10時から同商店街の町並みを巡り、午後1時から旧三井銀行小樽支店（色内1）で北大観光学高等研究センターの西山徳明教授らの基調講演を行う。同実行委は「市民に小樽の歴史文化への興味関心を持ってもらい、まちづくりを考えるきっかけにしたい」とする。

11日は定員80人（まち歩きからの参加は45人）、12日は定員100人（同30人）。参加費千円。定員に達し次第締め切る。



申し込みは専用フォームQRコードで。

問い合わせは事務局のオリ・プラン、電話0134・29・1003へ。

（久慈陽太郎）